

『研修内容のアンケート』集計結果

| No. | ブロック | 立場 | 早急に協会として行って欲しい研修の内容 | 今後協会に取り上げて欲しい研修の内容 |
|-----|-------|----------------|---|---|
| 1 | 十勝 | 管理者 | 研修の内容については、参考になるものと考えられていると思います。しかし、要望しても十勝管内での開催にならなければ、なかなか参加できない状況にあります。 | 全道各地に加入している事業所がありますので、研修の開催地について検討願います。 研修事業は我々介護職員にとって最新の情報や、想い、知識を向上させる大切なものと考えます。 札幌市近郊ばかりの開催の諸事情はあると思いますが、現在のところ道の協会加入のメリットが見えませんが、ぜひご検討願います。 |
| 2 | 道北 | 副施設長 | | 新人研修、見取りについての取り組み |
| 3 | 札幌 | 介護リーダー兼計画作成担当者 | | センター方式を使用しているが、あまりケアプランに活かされていない為、いまいちど、センター方式の基礎的な事から応用(ケアプランを作るなど)を、学びたいと思います。 |
| 4 | 札幌 | 管理者 | | ・救急救命の方法(実技あり) ・運営推進会議の活用方法、内容について ・介護施設における高齢者虐待の事例とそれに対する具体策 |
| 5 | 日胆 | 法人代表 | 接客:接遇について グループホームには地域の人、家族、視察者等々様々なお客様がおいでになります。接客指導できるような研修をやっていただきたい。 | ①医療連携のあり方 ②地域住民との連携のあり方 ③経営改善への取り組み |
| 6 | 道東 | 主任 | 医師や看護士さんなど介護士とは違う立場からみた認知症や介護の事に関する話を聞きたい。介護技術のスペシャリストの研修。 | |
| 7 | 札幌 | ホーム長 | | 在宅ケアへの対応する、職員の研修 |
| 8 | 空知 | 介護従事者 | ・様態急変時の対応等の研修 ・ボディメカニクスを使った移動介助の仕方 ・虐待について | ・左記同様 |
| 9 | 空知 | 計画作成担当者 | 認知症の病状によっての介護の方法、仕方等(対応)。 | ・利用者の方々、スタッフ共に楽しめているレクリエーション ・薬の効用、副作用等 ・口腔ケア時にての、うがいの方法(無理なく出来る) |
| 10 | 道北 | 介護員 | | ・高齢者のスキンケア(褥瘡予防等含む) ・認知症介護の経験のある家族の話し又は、グループホームに家族が入居している方の話し(入居している家族への思いや介護者に望むこと) ・認知症高齢者から見た介護者について(講義・グループワーク) |
| 11 | 道北 | 管理者 | | ・具体的な認知症ケアの対応事例を含めた講義 ・旭川開催で高齢者虐待防止や身体拘束廃止について講義 ・介護スタッフ向けの経験に合わせたレベルアップ研修など |
| 12 | オホーツク | 管理者 | 個々の自己覚知と対人援助、対人関係の構築。 | ・スーパービジョンによるスーパーバイザー(管理者)としての役割 ・ストレス視点による援助 |
| 13 | オホーツク | 介護職 | 認知症の重度、軽度等、異なる利用者さんの共同生活についての研修。 | |
| 14 | 道央 | 管理者 | ・介護職員の資質 ・介護職員のストレスケア | ・事例検討 ・介護記録 |
| 15 | 道央 | 介護スタッフ | チームケアのあり方 | ・利用者主体の生活の組み立て方 ・若年性認知症 |
| 16 | 道北 | 計画作成担当者 | 新人スタッフ研修 | 介護技術(実技)移乗、歩行介助、座位を安定させる方法、入浴など |
| 17 | 道北 | 管理者 | 旭川会場をもっと増やしてほしい。 | 経験年数別にした、スタッフ研修を考えてほしい (例)1年未満、3年未満、3年以上など、レベル分けをした研修 |
| 18 | 道北 | 計画作成 | GHにおける、ケアプラン作成に関しての、勉強会の開催を希望します。(ニーズ・短期目標等に関して) | センター方式に関しての勉強会の開催を希望します 情報収集一課題分析への焦点の絞り方の方法が内容にあると助かります(旭川市内での開催だと嬉しいです) |
| 19 | 道北 | 管理者兼計画作成者 | 特になのですが、札幌だとなかなか遠くて行けない。場所を変えて、いろいろな地方でやってほしいです。 | GHの苦情の研修会を旭川方面でも、やってほしいです。 |
| 20 | 道南 | 施設長 松本勝重 | 重度化に伴った、全般的なお世話の仕方のノウハウなどの研修をしていただければありがたいです | 職員間の連携がどれほど大切なのかを勉強出来る様な研修をしていただければと思います |
| 21 | オホーツク | 介護スタッフ | ・精神不安定な方の薬にたよらない介護(精神障害の介護) ・感染症の治療また対応の仕方 ・リハビリテーション(可動域訓練、筋力アップの訓練) | ・高齢者に多い疾病、障害 ・急変した時の対応 ・バランスのとれた食事 |
| 22 | オホーツク | 管理者 | ・介護報酬改正により、GHのおかれている立場の変化 ・職員のモチベーションアップにつながる研修 | ターミナルケアについて 職場訪問(実習)ができる研修 ※財政の厳しさ由、なかなか遠くの研修に出ることが難しいです |
| 23 | オホーツク | 管理者 | 新人スタッフ研修 | |
| 24 | 道南 | 管理者 | 新人研修(認知症の方の対応について) | ・富田HPの谷内先生による、新薬についてと事例について ・接遇 ・介護記録研修 ・言葉が聞き取り難しい人とのコミュニケーションの取り方について |
| 25 | 道北 | 介護員 | 身体に負担のかからない介助方法 | 身体観察のポイント 高齢者に起こりやすくなる注意が必要な症状について |
| 26 | 道北 | 管理者 | ・リスクマネジメントの研修(ヒヤリハットの活用法、KYKの方法など) ・旭川で虐待防止の研修を開いてほしい。 | ・認知症地域コーディネーター研修の継続 ・センター方式の研修(旭川で) ・若年性認知症についての研修 ・レビー小体型や前頭側頭型についての研修 |
| 27 | 日胆 | パート | 虐待について | ・グループワークが多い研修 ・実践的な研修 |
| 28 | 日胆 | 管理者 | 不適切なケアに対しての考え方 | GHの社会的資源としての役割 |
| 29 | 道北 | 介護員 | 新しい介護保険について | ・浮腫のケアについて ・事例研修 ・いつも札幌なので旭川でもやっていただきたい |
| 30 | 札幌 | 管理者 | ・介護職員としての心構え(ボランティアと職員の違い等) ・連絡、報告、記録の重要性 ・接遇、マナー、コミュニケーションに関する事 | 数ヶ月1回 新任研修をしてほしい(年の途中でヘルパー資格を取り、未経験で仕事をされる方が多い為) |
| 31 | 札幌 | 介護職員 | ・接遇、マナー、コミュニケーションに関する研修 ・様々なケースの具体的な介護技術に関する研修 ・急変時などの応急処置に関する研修 | ・左記同様 |

『研修内容のアンケート』集計結果

| No. | ブロック | 立場 | 早急に協会として行って欲しい研修の内容 | 今後協会に取り上げて欲しい研修の内容 |
|-----|-------|----------------|---|---|
| 32 | 道南 | 介護主任 | | 研修内容というより、研修の開催場所を札幌といわず、道南方面(例)函館、七飯方面でも是非お願い致します |
| 33 | 道東 | 介護主任 | 介護経験5年以上の実技講習を知り学びたいです。 | 医学知識の向上にむけた勉強会 |
| 34 | 道東 | 介護員 | ・若年性アルツハイマーについて ・精神疾患も併発されている認知症の対応方法 | 定期的に認知症についての基礎知識とGHの役割について学べる機会があれば、GHを見直す機会にもつながり、質の向上ものぞめるのでは、と思います |
| 35 | 空知 | 施設長 | ・人材の確保と職員教育方針のあり方について介護福祉士の現状と課題 ・福祉と医療の連携のあり方と進め方について ・管理者や介護職員のストレス解消方法について | 各ブロック毎において、座談会形式で現場の声を聞いてみる。管理者や経営者、現場で頑張っている介護職員の生の声をGH協会で集約し、課題をテーマに実践研修等につなげて欲しい。 |
| 36 | 道東 | | ・認知症の型の心のケアについて 認知症の症状別(ピック病、前頭葉、アルツ、脳血管)の理解と対応のしかた。 | ・ボディメカニクスを利用した身体介護 ・ホーム内でのリハビリを兼ねたレクリエーション、コミュニケーションの取り方 |
| 37 | 空知 | 管理者 | ・ターミナルケアについての指針の考え方について ・看取り、重度化に伴う24時間介護について | ・GHでの人材育成と認知症高齢者に対する周辺症状の考え方 ・食中毒等のホームでの対応 |
| 38 | 空知 | 介護職員 | 災害発生・緊急時支援体制の連携と対応 | ・新型インフルエンザ、季節性インフルエンザ、食中毒など集団発生時の対応 ・利用者の重度化又はターミナルに向けての対応 ・食事、水分補給の工夫 |
| 39 | 札幌 | ケアワーカー兼計画作成担当者 | 介護保険、介護報酬改訂部分についてのわかりやすい解説 | ・医学知識、リハビリテーション技術 ・食事、栄養学 ・法学(GHの現場で直面し得ることへの知識の備え。後見制度、相続のこと、年金制度など) |
| 40 | オホーツク | 介護職員 | ・ターミナルケアについての研修会 ・認知症ケアについての研修会 ・介護技術(食事介助、オムツ交換、トランス等)の研修会 | ・身体拘束についての研修会 |
| 41 | オホーツク | 管理者 | 地域との交流、連携について 地域の中でどのように関わっていきべきか | ・ターミナルケアについて ・災害時等の避難、誘導方法の実践 |
| 42 | オホーツク | 介護主任 | 医療から見た認知症(最新の) 認知症の理解、そして介護者の心構え | ・GHIにおける薬の基礎知識 ・接遇、マナー(コミュニケーションの重要性) ・口腔ケア |
| 43 | オホーツク | 介護員 | 認知症介護の基本 | ・高齢者に必要な食事、栄養の基礎知識 ・高齢者の心身の理解 ・口腔ケアについて |
| 44 | オホーツク | 管理者 | 認知症の理解を深めたい。内科的見解など。新薬(メモリー投薬についてのケア事例など) | 認知症高齢者を持つ家族への支援。家族とのコミュニケーションについて等。 |
| 45 | 日胆 | 介護主任 | ・転倒予防について ・嚥下障害のある方の食事、水分摂取法 ・褥瘡予防について ・重度(立てない人)の介護技術(1人で行う入浴、トイレ介助等) | ・ボディメカニクスの活用法 ・口腔ケアの実技研修 ・困難事例 ・ターミナル時の関わり方(本人、御家族) ・接遇(現場で役に立つ) |
| 46 | 日胆 | 介護員 | ・災害時の対応についての研修 | ・食事作りについての研修(工夫の仕方、他のGHの食事について等) ・レクリエーションや体操等の研修 話を聞くだけでなく、体を動かすような研修をしてほしいです。 |
| 47 | 日胆 | 総合施設長 | リスクマネジメント、基本マナー(技術、知識以前に生活習慣、性格の違う個々の職員に對しての躰、予測の大切さについて、至急研修実施してほしいです。 | 日常生活の中でスタッフ、入居者様、ご家族共に、コミュニケーション法が不十分のため、報告、連絡、相談が行き届かない、介護保険法、認知症の基本理解の以前に、なかなか職場内でも個別指導、研修を行っても、理解できていないそのことで、人に左右されやすい弱い職員が多くなってきている。是非お願いしたいです。 |
| 48 | 札幌 | 管理者 | | ・認知症の新薬、メモリー、レミニールを実際に服用している方の効能を知りたい。 ・統合失調症と認知症を合わせ持った方のケア事例を少しでも多く知りたい。 |
| 49 | 道北 | 管理者 | | ケアプランと介護記録の連動について |
| 50 | 札幌 | 管理者 | | 日頃の業務を通して、根拠を必ず示しながら指導しているが、なかなか考える力が育たず頭を悩ませています。管理者への研修もですが、スタッフに初歩からの考える力をつけていくための研修を強く希望します。 |
| 51 | 後志 | 管理者 | | アルコール性認知症について |
| 52 | 後志 | 介護職員 | | ・GHでの看取り、ターミナルケアについて ・認知症の緩和ケア 若年性認知症ケアについて |
| 53 | 道北 | 管理者 | | ・避難訓練について(2ユニットで2階建の場合のやり方) ・職員が行う介護診断について詳しく知りたい ・管理者としてのあり方について |
| 54 | 道北 | 介護員 | 今すぐにして欲しいという研修は特にありません。 | ・チームが一体となって助け合えるチームケアとはどういうものか(具体的なものも含めて)について研修して欲しいです。 |
| 55 | 札幌 | 管理者 | ・介護と医療の実際 利用者の同じパートナーとしてどう連携するか | ・介護保険の改訂を踏まえて、GHの現状と未来について(GHIに求められること) |
| 56 | 道北 | 管理者・介護員 | | ・接遇研修 基本マナー、言葉づかい、家族との関わり方等 ・GHIにおけるリスクマネジメント研修 ※旭川での開催を希望します |
| 57 | 札幌 | 介護スタッフ | 若年性認知症の症例が少ないので、見聞を広げるために、現在対応している事業所から現実的報告 | GHが創設された当時と、今では、取り巻く環境が変化していると思われるので、これから要請される事柄を学ぶ機会 (例)看取り等 |
| 58 | 道東 | 介護職員 | | ・うつ病について、対応 ・摂食嚥下障害 ・糖尿病について、対応 |
| 59 | 道東 | 管理者 | 会長様のお話を他の方も聞いて、ヒントを得られると良いと思います。(前回もとても楽しくお話を聞きました) | |
| 60 | 札幌 | 管理者 | 虐待について | ターミナルケアについて |
| 61 | 札幌 | 介護スタッフ | 特になし | ターミナルケアに関わるうえで役立つようなもの |

『研修内容のアンケート』集計結果

| No. | ブロック | 立場 | 早急に協会として行って欲しい研修の内容 | 今後協会に取り上げて欲しい研修の内容 |
|-----|-------|----------|---|--|
| 62 | オホーツク | ユニットリーダー | 認知症とは ケアの根拠と関わり方 初任者向けの理解しやすい研修 | ローカル地域でも勤務に支障なく多くの人が参加できる環境を求めます。 |
| 63 | オホーツク | 管理者 | スタッフの自律性や成長を引き出せる指導法 スキルアップコーチング | |
| 64 | オホーツク | 管理者 | | 精神疾患のある方の対応 |
| 65 | 札幌 | | 介護職に必要な医学知識スキルアップ研修 | ・介護記録の正しい書き方 ・摂食、嚥下リハビリテーション ・高齢者の転倒防止アセスメント |
| 66 | 札幌 | 管理者 | 看取りに関する研修 | レクリエーションに関する研修 |
| 67 | 道北 | 管理者 | 若年性認知症のケアに関する研修 | ・医療連携に関して ・都市と僻地との医療格差、その対応 |
| 68 | 十勝 | 理事長 | ※報酬の見直し ・宿直の2人体制(加算ではなく)の報酬の確保 ・介護職員処遇改善加算が新設は理解できるが、報酬に下るのは理解できない ※国はGHの実態を知らなすぎる。今後とも引き続き国に要請下さい。 | |
| 69 | 日胆 | 管理者 | 虐待に関する研修・・・先日札幌で行われていましたが、定員がすぐうまってしまったので、ブロック単位で行っていただけると、参加しやすいと思いました。 →その後、日胆ブロックの総会後に行うとの事で、参加したいと思います。 | スタッフが前向きになれる研修・・・例えば、日々の悩みをわかち合えるようなグループワーク(それぞれのGHで工夫している事などを共有できる)があると良いと思いました。 |
| 70 | 日胆 | 計画作成担当者 | ・新人向けの認知症の基礎的な研修 改めて振り返る事が出来る、意外と基本的な事の理解が十分でない事もあるため | |
| 71 | 道東 | 管理者 | 虐待の防止(函館のGH職員による虐待の事例もふまえて)についての研修をお願いします。 | アルツハイマー型認知症の方の対応では、うまくいかない方(レビー小体型でも、前頭側頭型でもなく、元々の性格なのか被害妄想が強い方)の対応について、取り上げてほしいです。 |
| 72 | 道東 | 介護スタッフ | 4月、5月に新しくスタッフが入りましたので、介護初心者の方の新人研修などをお願いします。 | 介護の現場で新しい取り組みや珍しい症例などの事例報告をしてほしいです。 |
| 73 | 十勝 | | ・現場のワーカーの為にセンター方式の活用術 ・現場のワーカーの為にコミュニケーション能力の向上術 ・精神疾患についての具体的な症状と基本的な関わり方 ・現場のワーカーの為に数々の事例報告(問題対処方)パターン紹介 | |
| 74 | 道南 | 管理者 | 離床が頻回な利用者様の対応について | 運営推進会議の取り組み方法について |
| 75 | 日胆 | 管理者 | | 再度、認知症ケア実践事例発表、北海道大会 |
| 76 | 道南 | 介護スタッフ | 高齢者虐待について(職員のストレスなども含め) | ・和田行男さんの講義を聞いてみたいです。 ・認知症について。(色々な方の話を聞ける機会があれば・・・) ・職員がストレスをかかえないためには。 |
| 77 | 札幌 | CW | | 災害時の認知症の方達への対応について |
| 78 | 道央 | 管理者 | 特にありません。 | ・事例検討研修会(回数多くして欲しいです) ・苦情に対する話し合いを一方的ではなく今後の為にも各事業所の代表なりをグループワーク方式で一度話し合いの場を作ったらいいか？ |
| 79 | 札幌 | 管理者 | | ・介護者としてこれがもっとも良いと思われる移動動作技法について ・各GHの紹介、研修(研究発表となると緊張感があったり負担が大きいかも？なかなか参加に踏み出せない面があり、でも他GHの事も知りたい気持ちもあります) |
| 80 | 札幌 | 介護員 | | ・より詳細な、「虐待」と「非虐待」の境界線について ・介護者のストレスサー及びコーピングについて |
| 81 | 札幌 | 管理者 | ・身体介護技術 ・SOSネットワーク研修 ・管理者スキルアップ研修 | |
| 82 | 札幌 | 介護員 | ・医療と介護の連携についての研修 ・記録の書き方の研修 ・認知症の理解と事例研修 ・終末期に関する研修 | |
| 83 | 十勝 | ホーム長 | | 疾患別認知症の知識を学びたい |
| 84 | 札幌 | 管理者・介護主任 | 4月13日に開催された『介護現場のストレスサーとコーピングを考える』のコーピングの部分の時間がもう少しあったらと思いました。 | 最近介護に心が入っていないスタッフが多く感じ、初級者の研修を取り上げていただきたいです。GHは初めて介護に携わる方も多く、研修内容が難し過ぎるものが多い気がします。 |
| 85 | 道東 | 介護職員 | 介護職員に対してのメンタルヘルスケア研修。認知症の方を支援するのはやはり強いストレスを感じる。それが虐待へとつながりかねない。介護をしていて失敗してしまった話を、どうやって乗り越えたかという経験談を聞いたりして、勇気付けられるような元気が出るような研修をして欲しい。 | 接遇 |
| 86 | 道東 | 管理責任者 | 生活の質と保障。リスクマネジメントの研修。 事故に対する危機管理について学び、職員の意識を高めたい。 | 認知症の人とのコミュニケーション 人的環境が大きく影響するという事を繰り返し学び身につけていきたい(職員の役割やチームケアの大切さについて) |
| 87 | 札幌 | リーダー | | ・認知症の人の終末期のケア ・認知症の薬の正しい知識 ・認知症の人の家族支援と医療との連携 ・スタッフ育成について ・さまざまな病態や症状の理解 |
| 88 | 札幌 | ケアスタッフ | | ・認知症の薬について ・感染予防について ・メンタルケアについて ・重症者のケアについて ・認知症のBPSDや事例のいろいろ ・虐待について |
| 90 | 十勝 | 援助員 | ・チームケアについて ・メンタルヘルス | 地域資源の活用と展開について |

『研修内容のアンケート』集計結果

| No. | ブロック | 立場 | 早急に協会として行って欲しい研修の内容 | 今後協会に取り上げて欲しい研修の内容 |
|-----|------|--------|---|---|
| 91 | 札幌 | 管理者 | 協会・非協会問わず、気軽に参加出来るシステム(料金・場所・シリーズもの)作りを依頼したいです。 正直、研修の席に金額が発生し利用者の立場も大事ですが、介護・福祉の仕事に従事する人達の保護する様な研修もあって良いかなと思います。 | 他職種も混じっての意見交換会や、近隣の同業者との連携や交流会等があれば、と思っています。 |
| 92 | 札幌 | 介護従業員 | 利用者様がケガをした場合の応急処置の適切な行い方。電話で救急車を呼ぶ時の対応など。 | 利用者様がケガをした場合の応急処置の適切な行い方。電話で救急車を呼ぶ時の対応など。 |
| 93 | 札幌 | 介護スタッフ | グループホームでの看取り、ターミナルケアについて | レビィ小体型認知症について(診断、治療、進行、薬についてなど) |
| 94 | 空知 | 管理者 | | 認知症高齢者ケアサービス全体的な知識・技術について (新人研修として年1回程度) |
| 95 | 空知 | 介護主任 | | ・高齢者の身体拘束、虐待防止について(事例も含めて) ・チームケアの実践方法について ・記録の書き方について(カルテ・日誌等) |
| 96 | 道北 | | ・認知症ケアの基本的な考え方 ・認知症の行動、障害への対応 ・褥瘡ができてしまった方への介護の対応 | 札幌市だけでなく旭川市での勉強会を行ってほしいです。地方では参加したくても行けません。よろしくお願いします。 |
| 97 | 道北 | | ・リスクマネジメントの研修 ・リーダーシップ研修 ・薬に関する研修 | (旭川での研修を増やして欲しいです。) ・介護技術研修(ボディメカニクス等) ・認知症理解 ・救急対応 |
| 98 | 道北 | 介護員 | 認知症の利用者さんを少しでも元気づけられるアドバイスがあれば教えてほしい。 | 応急手当のマニュアルが何かあればほしいです。 |
| 99 | 道北 | 管理者 | グループホームで看取りを行った場合の死亡診断書等(死亡して救急車を呼ばない場合)について、どう診断してもらうのか? 個人病院などは先生を呼んでいます、総合病院などは? | ・褥瘡のケア、対応、他の研修 ・たん吸引、胃ろう等の研修 |
| 100 | 日胆 | ユニット長 | 介助される側にとって安全で安楽な苦痛のない、介助する側にとって負担の少ない楽な移乗、移動、座り直し、立ち上がりなど、新しい介助法の研修 | 嚥下が悪くなってきた方への食事の姿勢や食事の形状、一口の量やスピードなど、最後まで口から食べられるための介助法の研修 |
| 101 | 空知 | 管理者 | 郡部にある営利法人のGHIにおける医療機関との連携の実態と強化のための方策。 | ・介護現場における接遇 ・初任者研修-認知症介護をめざす人の姿勢・高齢者介護の基本 等 |
| 102 | 空知 | 介護スタッフ | 地震等の緊急時にどのように対応したら良いのかシミュレーションをしてみたい | 緊急時にどの段階で救急車を呼んだら良いのか、医療と介護の現場の考え方の違いも含めて学びたい。 |
| 103 | 後志 | 管理者 | 高齢化、認知症の進行した利用者様に適したレク(リハビリ等拘縮防止といったものも含め)について | 若年認知症の方へのケア、日々の食事の提供の仕方(便秘や減塩などの食事に、管理栄養士等のサポートが得られにくい場合の対応について) |
| 104 | 道南 | 介護員 | ターミナル期における緩和ケアについて。特に身体介護支援について具体的に。 | 排泄支援、ケア |
| 105 | 道南 | 管理者 | 重度化する入居者への医療について、グループホームでどこまでするのか(通院介助、点滴)、しているのか。 事例を多く取り入れて研修して欲しい。訪問診療が充実していない所なので、不安がある。事例を知りたいです。 | ターミナルケアに向けてのスタッフ育成について |
| 106 | 日胆 | 管理者 | ・チームケアの取り組み ・認知症の症例別の違い ・困難事例の取り組み | グループホームの近隣地域とのつながり、各グループホームとの取り組み、情報交換の場を開いて欲しい。 |
| 107 | 日胆 | 介護員 | 周辺行動とその対応について事例等を通し研修したい。 | ・介護技術について ・施設内におけるチームケアについて |
| 108 | 道南 | | 早急ではありませんが、ヒヤリハット、事故報告等で実際に起きた事例に対し、対応策やどのような工夫をした等、具体的に事例を通し勉強したいと思っています。 | 施設であった、困った認知症の症状等、どのようなケアの工夫をしたのか、いろいろと実際にあった事例等から知識を得たいです。(現在 物とられの訴えのある方に対する工夫しみんなで検討、ケアの方法をためしているため、今後のためにも事例を通し聞いてみたいと考えています) |
| 109 | 道南 | | ・看取りについて ・各認知症の周辺症状とその対応について | タクティールケアについて(認知症緩和ケア) |
| 110 | 道南 | | 施設内における介護員の虐待について | 褥瘡について |
| 111 | 札幌 | 管理者 | 現場での業務を通しての職員の教育、スキルアップについて | 外部の専門機関(医療機関、包括など)との関わり方について |
| 112 | 札幌 | 介護職員 | ホームとして出来る緊急時の対応(てんかん時・低血糖時 等) | ・認知症のBPSDに対する対応のグループワーク ・病気についての基礎知識 |
| 113 | 道南 | 介護職員 | 緊急時の対応の仕方(介護職員はどのくらいの応急処置が出来るのか、どこまで手を出しているのか)が詳しく知りたいです) | ・グループホーム、少人数で出来るレクリエーションの内容、提供の仕方 ・認知症とは何か?(どうい病気、どうい症状が出るのか?等、初心を忘れないようにもう一度勉強したいです) |
| 114 | 道南 | 管理者 | 経験年数関係なく参加でき、GHで働く心得、基本的なことを学べるような研修。実践者研修の内容のような…。 個人的に実践者研修に行き意識が変わったので、スタッフにもたくさん受講してほしいのですが、なかなか行かせてあげられないので、凝縮した内容の研修があると良いと思います。 | 事例発表。 困難事例やBPSDの対応等の事例を聞き、他ホームの取り組みや関わり方を学ぶ研修があると良いと思います。 (静内で昨年ありましたが参考になり、同じ悩みを抱えはげみにもなったので) |
| 115 | 日胆 | 管理者 | 若年性認知症についての研修を行ってほしいと思います。 早急ではありませんが、入居者に若年性の方がいて、どのように生活し、経過をたどっているかなど。 | 様々な入居者がいると思います。対応が困難だったがスタッフの関わり方や環境によって落ち着いたというケースがあると思います。困難事例の報告会みたいな研修が他のグループホームの関わりなど聞いてみたいです。 |
| 116 | 日胆 | | 若年性認知症について。 先日、登別市民会館で、若年性認知症の方が来て講演があり、話を聞かせていただいたが、それ以来詳しく知りたいと思ったため。 | 事例報告会など、他のGHでの対応と対策など知りたい。 |

『研修内容のアンケート』集計結果

| No. | ブロック | 立場 | 早急に協会として行って欲しい研修の内容 | 今後協会に取り上げて欲しい研修の内容 |
|-----|------|---------|---|---|
| 117 | 札幌 | 施設長 | 虐待防止研修 | ・職員間のコミュニケーションの重要性 ・職員のメンタルヘルス |
| 118 | 道南 | 介護職 | 拘束と虐待について 不適切なケアが虐待につながる可能性が強いといわれるなか、これが拘束？と疑問に 思う事が多々あります。 その辺の講習をやって頂けるとぜひ受講してみたいと思います。 | 自分で動けなくなったり寝たきりになってしまった方たちの介護で移動や移乗など 一般的なものではなく力のないスタッフでもできる様な介護技術、その様な研修が あれば良いと思います。 |
| 119 | 道南 | 管理者 | | 若年認知症の人に対する支援体制 |
| 120 | 道北 | 管理者 | 記録を記入する上での注意や方法について | 事業所における介護スタッフのプロ意識を向上させる研修 |
| 121 | 道北 | 介護スタッフ | ・認知症の種類と症状について ・種類別の問題行動についての対応 | これからのグループホームの在り方や、今後グループホームがどのように変化して いくと考えられるか。 |
| 122 | 札幌 | スタッフ | 認知症の種類と対応について詳しく | モチベーションの高め方や保ち方 |
| 123 | 札幌 | 管理者 | GHIにおける看取りについて | 若年認知症の介護 |
| 124 | 日胆 | 管理者 | 計画作成者研修(センター方式を用いたケアプラン) (2ユニットのうち1ユニットしかとりこんでいないので) | リスクマネジメントについて (報告書の書き方も含めて)。SHELL方式を使うよう法人から言われているが苦戦し ている。よそはどうなのだろうか。) |
| 125 | 日胆 | 介護スタッフ | グループホームにおける重度化入居者の対応(看取りを含む) →3月に聴けたスタッフが少なかったため | ・職員の言葉の抑制について ・生活空間と環境づくり ・新人研修、2～3日目職員研修など、段階に応じての基礎が身に付く研修 |
| 126 | 札幌 | 介護職 | ・GHで起こりやすい虐待の事例を基にした研修会(ありがちなケースを参加しながら気 づきにつなげるために) ・認知症と精神障害を持ち合わせた高齢者(GH入所者)の対応についての違いを知る 研修会 | ・事例を基にしたセンター方式使用のケアプラン作成の研修(事前に1事例を提出し、 センター方式を使い方やわかりやすくケアプランを考えられる研修会があると経 験の浅い職員も立てやすく理解しやすいと思う為) |
| 127 | 札幌 | 管理者 | | 若年認知症の方々へのケアについて |
| 128 | 空知 | 介護スタッフ | ・寝たきりの方への介護全般(食事・入浴等を含む) ・コミュニケーション | ・研修(聞くだけの研修)ではなく、研修に参加した人達がそれぞれ参加のできる研 修を行って欲しい。又、それぞれの施設での困難事例なども聞くだけのものではなく オープンに参加型の研修を行って欲しい。 聞いて情報を持ち帰って今後につなげられる研修も必要だと思います。 |
| 129 | 空知 | ケアマネ | ・困難事例 ・スタッフ育成 ・センター方式の使い方 | 聞くだけの研修ではなく、情報交換の出来る参加型の研修。 |
| 130 | 道央 | 管理者 | 疾患別にみた認知症の人との関わり方。支援のあり方。 | 住み良い住まい作り、環境整備についてケアプランに基づいた記録方法。 |
| 131 | 道北 | 管理者 | 身体介助の実地研修をお願いしたいと思います。特に認知が進んでいて反応のない方 を介助する際の注意点や介護員側も安全・安心な介助方法等。 | |
| 132 | 道南 | 管理者 | 虐待について。(職員のストレス解消やお互いに注意し合える良好な関係作りについて 等) | ・良い介護員を育てる為に注意すべき点など。 ・ご家族や入居者様との信頼関係作り。(施設に対して、遠慮なく意見など話してい ただきたいので) |
| 133 | 道南 | 介護員 | 色々、研修や本など学んでいますが、なかなか教科書通りにはいかないものです。 実際にあった事例など通して教えていただければと思います。 | 虐待や抑制防止について。 |
| 134 | 空知 | 計画作成担当者 | ・若年性認知症の方へのアプローチ及びケアプラン ・精神疾患(統合失調症など)をあわせもつ認知症の方へのケア ・認知症の方で身寄りのない方や経済的困窮している方の場合の社会的支援について (権利擁護、生活保護、後見人制度も含めて) | ・医療ニーズの高い認知症性高齢者に対してのケア |
| 135 | 後志 | 介護員 | 認知症以外の精神障害者への対応について(統合失調症やうつを併せ持った方への対 応) | 薬の知識について |
| 136 | 日胆 | 管理者 | ・高齢、障害のある方とのコミュニケーション、バリデーション研修 ・リスクマネジメント研修 ・一般医学、医学的な認知症の理解 ・認知症の理解等は継続的に参加していきたい | ・ターミナルケアは継続的に行って頂きたいです。 |
| 137 | 日胆 | ケアスタッフ | 高齢者虐待についての研修を実施して頂きたいです。最近高齢者が対象となった虐待 が増えており、自分自身にとっても身近な出来事ですし、このようなことを起こさない為 にも、研修を実施して頂きたいです。 | 今後はコミュニケーションの研修を実施して頂きたいです。利用者様との良い関係 作りの方法など研修して頂きたいと思っています。 |
| 138 | 空知 | 管理者 | 自宅又は病院から施設に入り環境の変化に伴い精神面の不安定に対し職員の心構え、 対応の仕方(新人職員にもっと理解してほしい) | 若年性認知症の方を今後受入れる事となった場合、高齢者の方と共同生活を送る のに何を重点に置いた方が良いか、どこに注意し精神面の安定を図る事が出来る のかをもっと理解したい |
| 139 | 空知 | 計画作成担当者 | 新設のグループホームにおける認知症ケア。 複数の方が精神面で不安定になり、周囲の利用者にも影響がでてきてしまう為、対応方 法等学びたい。 | 若年性認知症の方を今後受入れる事となった場合、高齢者の方と共同生活を送る のに何を重点に置いた方が良いか、どこに注意し精神面の安定を図る事が出来る のかをもっと理解したい |
| 140 | 札幌 | | ・スタッフのメンタルケア ・高齢者の栄養管理(ダイエット) | レクリエーション企画 |
| 141 | 道北 | | | コミュニケーションの能力向上研修 |